

伊豆東部火山群

○概況（平成 18 年 6 月）

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○地震及び微動の発生状況（図 1～3）

この地域では今年 1 月からしばしば一時的な地震の多発が繰り返し、4 月にはマグニチュード 5 以上の地震も発生しましたが、その後、地震活動は落ち着いた状態となっています。なお、昨年に比べ地震回数はやや多い状態で経過しています。

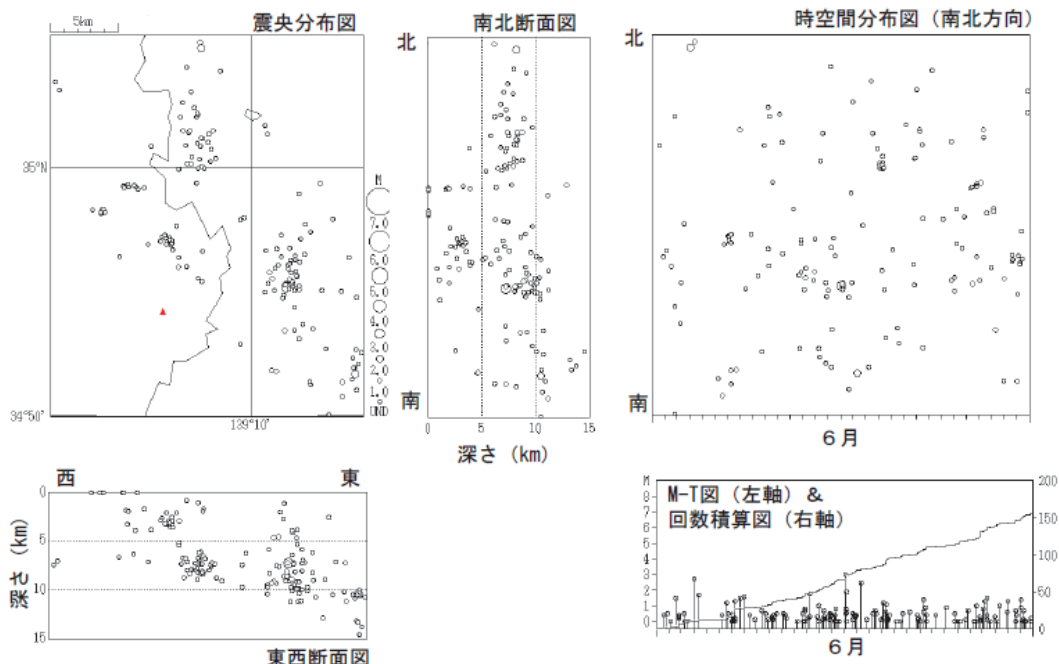


図 1※ 6 月の地震活動経過（2006 年 6 月 1 日～6 月 30 日、マグニチュード¹⁾は暫定値）

1) マグニチュード (M) は地震の規模を表します。資料中の M は暫定値で、後日変更することがあります。

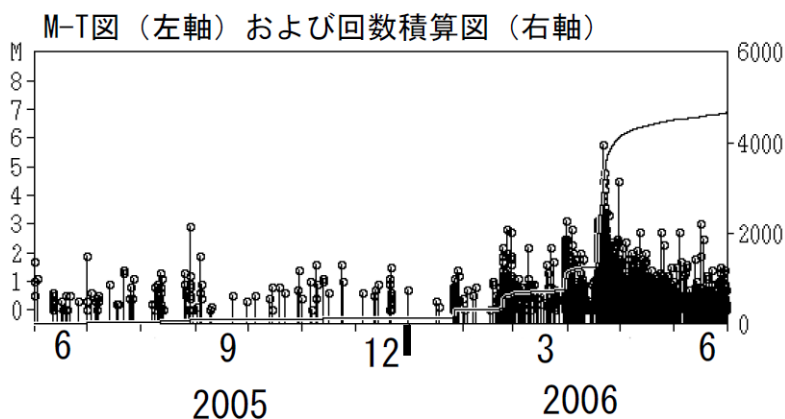


図 2 最近 1 年間の地震活動（2005 年 6 月 1 日～2006 年 6 月 30 日 2006 年 4 月以降のマグニチュードは暫定値）

※この資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

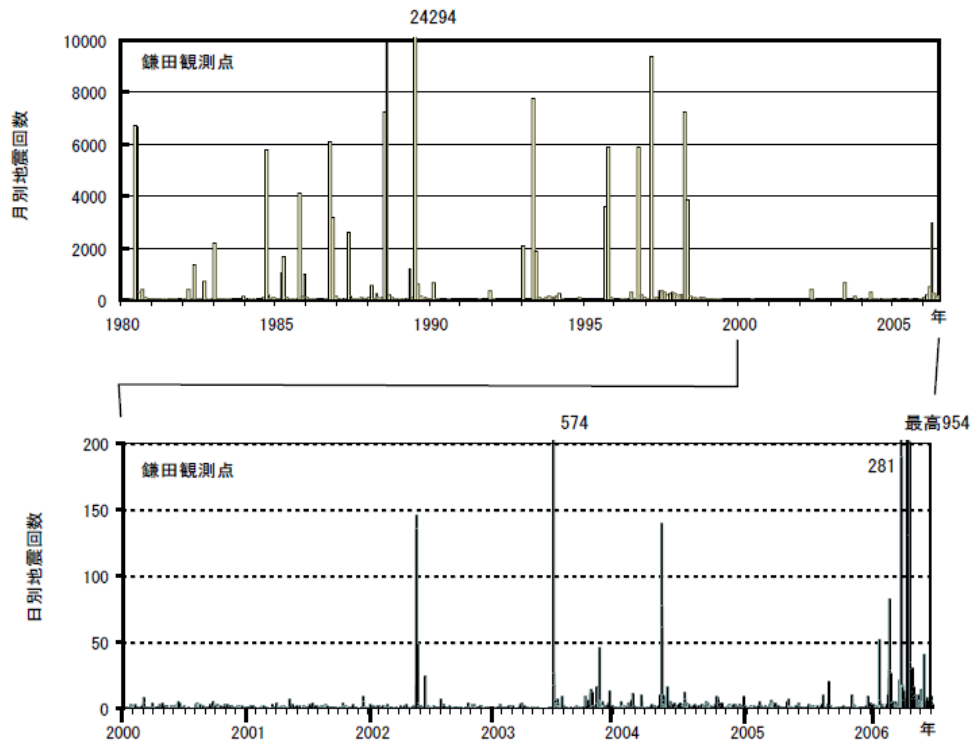


図3※ 伊豆東部火山群 鎌田地震観測点（図6右図）で観測した地震回数
 上段：月別地震回数（1980年1月～2006年6月）
 下段：日別地震回数（2000年1月～2006年6月）
 地震回数は、鎌田観測点のS-P時間が6秒以下で上下動速度振幅が一定振幅以上の地震の数を表す。

GPS連続観測による地殻変動の状況

気象庁のGPS連続観測では、火山活動によると考えられる変動は認められませんでした（図4）。

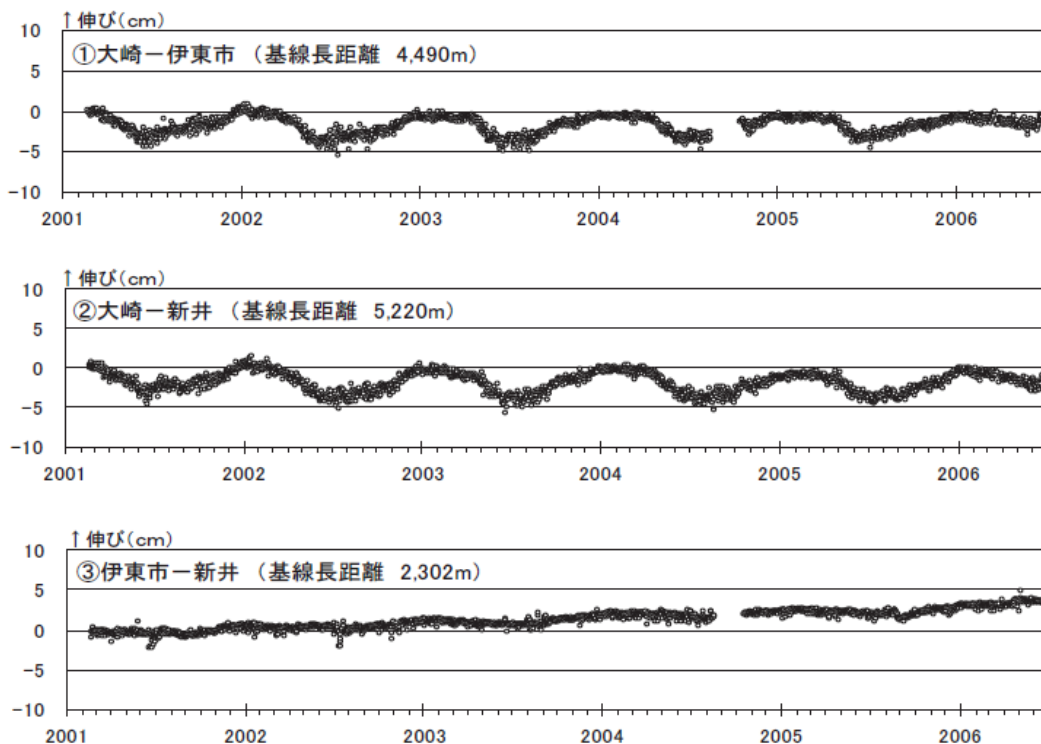


図4 伊豆東部火山群 GPS連続観測による基線長変化（2001年2月～2006年6月）
 基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
 (①～③は図6のGPS基線①～③に対応しています)

○噴煙の状況

伊東市役所に設置している遠望カメラでは、噴煙は観測されませんでした。

○観測点情報

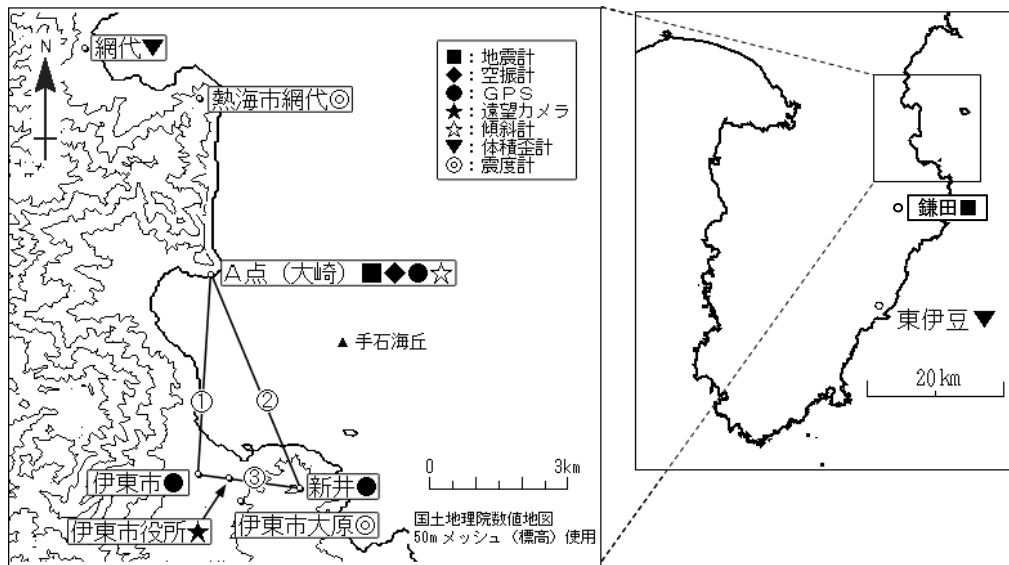


図5 伊豆東部火山群 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）